

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 文化財保護センター環境整備事業費（長寿命化計画外）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 文化財保護センター 管理調整係 電話番号：058-237-8550

E-mail：c21807@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,421 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	8,421	0	0	0	0	0	0	0	8,421
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

文化財保護センターは平成10年に旧警察学校の跡地に移転し現在に至るが、旧警察学校の建物をそのまま活用しているため老朽化が著しい。職員や来館者に対してどのように安全を確保するか、また発掘調査に伴い出土する大量の遺物や発掘記録をどのように保管していくかが課題であり、このため文化財保護センターの安全安心な環境の整備を実施する。

(2) 事業内容

◎センター、飛騨駐在事務所、国府事務所の樹木管理及び草刈り

樹木については定期的な剪定を行っておらず、電線に接触したり、老木のため内部の腐敗があるなど、管理が必要な状態である。

また、施設内の雑草についてはセンター職員が草刈りを行っているが、範囲が広く、業務と並行して管理を行うのが困難である。

今までは職員で対応してきたが、職員数も減りつつあり、作業に限界がきている。

このため、樹木及び雑草について、管理の業務委託を行う。

◎飛騨国府事務所倉庫解体工事

設置から20年以上経過し、経年劣化により耐久性がなく今後使用を続けることが困難であるため、解体を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,747	センター地内樹木管理業務 601
		センター内除草作業 1,456
		飛騨駐在事務所樹木管理業務 1,227
		飛騨駐在事務所除草作業 37
		飛騨国府事務所除草作業 426
工事請負費	4,674	飛騨国府事務所倉庫解体工事 4,674
合計	8,421	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

なし

(2) 後年度の財政負担

草刈りは次年度以降にセンター運営費（維持管理）で計上したい。
樹木の管理は2年に1回計上したい。

(3) 事業主体及びその妥当性

国や県の開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行い、記録保存し、その研究、活用をととして県の文化振興に寄与することを目的とする県の教育機関であり、施設管理者として安心安全な環境づくりを推進する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

老朽化、経年劣化した建物を使用目的に合わせて整備することで、職員及び来館者にとって安心安全な施設づくりを目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

センターを維持管理するための環境整備であるため、指標は設定できない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和 3 年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和 4 年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %

2 事業の評価と課題

①セブター、飛騨社仕事所、四府事務所の樹木管理及び早刈り
 樹木については定期的に前定を行っておらず、電線に接触しない

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)	

- ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
 3 : 期待以上の成果あり
 2 : 期待どおりの成果あり
 1 : 期待どおりの成果が得られていない
 0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)	

- ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)
 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)	

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
 施設の安心安全な環境を確保するため、早急に対応する必要がある。

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
 敷地内の除草を継続的に実施して、安全な職場環境を維持する必要がある。

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】